

～ 後期研修医からのひとこと ～

- ・ まず広島市の中心に位置し、市街地と地下で連絡しています。広島駅からも近く、学会などで新幹線を利用するもの便利
- ・ 給与;時間外勤務により多少増減しますが、十分な手取りがあります。
- ・ 総合周産期母子医療センターであり、NICU、小児外科も充実しており、希望すれば新生児研修も可能です。脳外科、心臓血管外科、小児循環器科があるため胎児異常は非常にたくさん集まり、PIH、双胎、前置胎盤などのハイリスク妊娠、胎盤早期剥離、産後大量出血、子宮内反症などなど、様々な症例が集まり勉強できます。
- ・ 子宮筋腫、卵巣嚢腫など良性疾患だけでなく、がん拠点病院となっているため婦人科悪性腫瘍の症例数、手術件数も多い。産婦人科内視鏡学会専門医も2名いるため、やる気があれば腹腔鏡下子宮筋腫核出、子宮全摘なども経験できます。

～ 産科・婦人科スタッフ ～



広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会) 有馬・長谷川・児玉

E-mail :hiro-kensyu@hcho.jp

～ 交通アクセス ～

【電車】

■ JR 広島駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約12分 紙屋町東下車
徒歩 約7分

■ JR 横川駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 7系統 約13分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

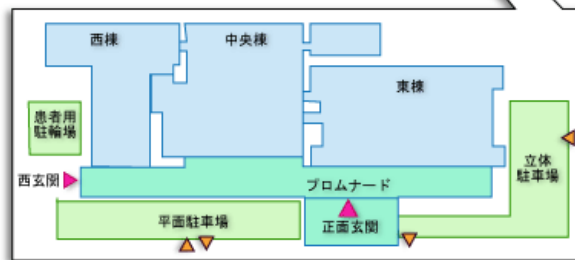
■ バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

■ 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

■ 広島空港→バスセンターまでバスで約50分位



地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

産科・婦人科

のご案内

基幹型・産婦人科領域

当科は、以下の基幹型専門研修プログラムの基幹施設です。

	基幹型専門研修プログラム名等	期間
基幹施設	広島市立広島市民病院産婦人科専門研修施設群専門研修プログラム	3年
連携施設	岡山大学病院・岩国医療センター・興生総合病院	

20200601



最高の仲間と、最高の場所で、最高の研修を!



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

産科婦人科志望のみなさんへ



総合周産期母子医療センター センター長
婦人科 主任部長 児玉 順一

「熱いハートをもって指導にあたっていきます」

産科に関しては、国から総合周産期母子医療センターとして承認され、年間分娩数は約1000件、母体搬送も年間100件以上受け入れています。婦人科では、悪性腫瘍の手術を年間120件以上、また腹腔鏡下手術を年間約500件行っており、年間手術数は、産婦人科全体では約1500件です。当院では、産科、婦人科をバランスよく研修することができます。



産科 主任部長 石田 理

「わきあいあいと楽しく働いています」

若手の医師が多く、多忙ながらも皆、充実した日々を過ごしています。周産期、婦人科腫瘍、内視鏡手術、女性医学など幅広い範囲にわたり、指導医も充実しており、サブスペシャリティの習得も可能な施設です。産科ではハイリスクの症例が多く、貴重な症例を経験することができます。何よりも雰囲気がとてもよく、楽しい研修生活を送ることができます。産科、婦人科をバランスよく研修することができます。

産科婦人科概要

診療科の特徴

当院は産婦人科研修病院の認定施設であり、産科はもちろん婦人科腫瘍（悪性腫瘍を含む）に対して腹腔鏡下手術など、いずれの分野もそれぞれの専門性を持って、全国的にも高いレベルのバランスのとれた診療を行っています。

各種専門医指導施設

1. 日本産科婦人科学会卒後研修指定施設
2. 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医制度指定修練施設
3. 日本周産期・新生児学会（産科・胎児部門）基幹施設
4. 産婦人科内視鏡技術認定医指定修練施設
5. 日本女性医学学会女性ヘルスケア認定医指定修練施設
6. 母体保護指定医研修認定施設

厚生労働省認定施設

総合周産期母子医療センター

産科

厚労省発表で過去10年間の周産期死亡率、母体死亡率が広島県は上位を占めてきましたが、その事に関する貢献は当院の総合周産期母子医療センターの存在が大きく関わっています。

また、当院では胎児心臓病の早期発見、引き続いての管理は循環器小児科・心臓血管外科で管理できる体制になっています。さらに子癇や産後の出血など、産科救急は当院の放射線科による子宮動脈塞栓術やICUと共同しての全身管理で予後を良好に保つ事が可能となっています。

婦人科腫瘍

子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌などの悪性腫瘍の治療を年間120件以上行っており、全国でもトップクラスの治療数です。また、良性疾患はもちろんのこと、子宮頸癌、子宮体癌に対する腹腔鏡下手術も行っています。

学会発表

日本産科婦人科学会、日本癌治療学会、日本婦人科腫瘍学会、日本周産期・新生児学会、日本産婦人科内視鏡学会等に多数の演題を発表し、診療技術の向上につとめています。

カンファレンス

- ・ 術前カンファレンス（1回/週）
- ・ 放射線科医・産婦人科医合同画像カンファレンス（1回/月）
- ・ 病理医・産婦人科医合同画像カンファレンス（1回/月）
- ・ 周産期カンファレンス（1回/月）
（産婦人科医/新生児科医/小児外科医/助産師/看護師）
- ・ 産婦人科医・乳腺外科医・病棟看護師合同カンファレンス（1回/月）
- ・ 広島市民病院産科婦人科カンファレンス（2回/年）
- ・ 精神科・産科婦人科合同カンファレンス（1回/月）

産科婦人科内訳

産科婦人科医師 合計	15人
うち 産婦人科専門医	11人
後期研修医	4人
医員（後期研修修了）	11人
非常勤医師	0人
産科婦人科病床数	71床

後期研修の実際（2年目の1年間）

外来	週1日産科婦人科初再診を担当
手術	週5日の手術日と緊急手術
経産分娩	100例
手術執刀	帝王切開(50例)、子宮全摘術(20例)、腹腔鏡下手術(50例)、そのほか円錐切除術、子宮頸管縫縮術、筋腫核出術、付属器切除、子宮鏡下手術など(第1助手もかなりして頂いています)
当直（産直）	月に4回、セカンドコール2回
学会発表	全国学会3回、地方学会2回 (一部の学会参加費、交通費、宿泊費は支給されます)

～病棟の様～

